

公益財団法人 金沢市スポーツ事業団主催

第二回 かなざわスポーツ川柳コンテスト 入賞作品



8月から9月にかけて募集しました「スポーツ川柳」の入賞者が決定しましたので発表します。
たくさんのご応募、ありがとうございます。

■募集期間 平成30年8月1日から9月20日まで

■応募者数 982人（全国47都道府県から応募がありました）

■応募総数 2,364句

■選評 石川県川柳協会 事務局長 城山悠歩先生



【一般の部】

空間をアートに変える床競技

（静岡県 博之介♪様 46歳 男性）

【選評】

12メートル四方のゆか。スプリング式床の開発によって高難度技が大きく発展したという。スペシャリストが競い合い、空間がアートに変わる。白井、村上の活躍で五輪への期待が高まる。自由な想像の余地！。



【小中学生の部】

はつしあいドキドキするよママみてね

（石川県金沢市 浅谷美優様 7歳 女性）

【選評】

初めての試合の緊張感！逃げ出したいくらいだが、勝つために練習を積み、今ここにいる。観客席を見上げると、笑顔のママの姿。勇気百倍だ！初試合の不安、支えられて生まれる自信がよく表現されている。



【一般の部】

万歩計つけてびっくり一歳児

(静岡県 若森美乃理様 女性 31歳)



【選評】万歩計は大人のもの？一歳児に一週間万歩計をつけてみた方がいる。一日の平均が7000歩弱だったとか。大人顔負けの数値。親は驚きつつもお主やるなどニンマリ。我が子の将来に期待し、自らを叱咤。他の大人にも刺激！



【一般の部】

ジョギングで余生の地図を塗り替える

(石川県津幡町 橋本 久様 男性 77歳)

【選評】車で自身の行動範囲を広げてきたのも事実。しかし、余生はジョギングで行動範囲を広げるのも手だ。車の入らないコースも含まれる。そこでの出会いや発見、正に「地図を塗り替える」がピッタリの表現。



【小中学生の部】

芝の上絆のボールはしってる

(佐賀県 二郎様 男性 14歳)

【選評】サッカーの試合は、イレブン対イレブン、全員プレーの戦いだ。一人がボールを支配し、ゴールを決める試合は無い。攻守が目まぐるしく変わり、ボールが両サイドを行き来する。「絆のボール」が秀逸な表現。



【小中学生の部】

ふみきりをけっしておそらとハイタツチ

(大阪府 ぱんだ様 男性 6歳)

【選評】走り幅跳びだろう。助走して、踏切を蹴って、思い切り跳び上がる。時に歩幅が合わなかったりもするが、今のジャンプは完璧だ。伸ばした手が空とハイタツチして最長不倒距離！



【一般の部】

スポーツの汗が勇気に進化する

(愛知県 かる吉様 男性 69歳)

【選評】 スポーツで流した汗は尊い。それは勝利を呼び込む汗であり、負けても次の再起を誓う汗である。その繰り返しの中で、いつしか汗は闘う勇氣、人生を雄々しく生きる勇氣にもなる。「進化」と言い切ったのが良い。



【一般の部】

戦時下の無念を越えて百の夏

(福岡県 しゅうたろう様 男性 43歳)

【選評】 今年の甲子園は百周年の記念大会だった。レジェンドが始球式をした。一世紀は長い。途中に戦争があり、大会が開かれないこともあった。その無念を越えての百回大会、さらに次への一里塚にする義務がある。



【一般の部】

スポーツは平和支えるアンバサダー

(東京都 紫よん様 女性 27歳)

【選評】 スポーツとは何か。人によって答えは様々だ。ここに示された一つは、「平和を支えるアンバサダー(大使)」というもの。地球がいがみ合う今こそ、スポーツ大使が必要だ。平和を実現する人々は幸い！



【小中学生の部】

初ゴール歓声わいた神キック

(佐賀県 犬塚早也佳様 女性 14歳)

【選評】 ストライカーもなかなかゴールが決まらない。だが、この日、狙いすましたヘッドイングシュートがネットを揺らした。待望の初ゴールだ。これぞ神の子神ゴール。応援団の大歓声の中で私は天にも昇る気持ち！



【小中学生の部】

引退後長く感じた夏休み

(佐賀県 岩室奈知様 女性 15歳)

【選評】 部活が、試合が中心に動いていた学校生活。しかし、最後の大会で負け、引退した夏休みの長いこと！受験へとすぐには切り換えられない抜け殻のような自分。時間は主観によって伸縮することを素直に表現する。



【小中学生の部】

君を見る君はまっすぐゴール見た

(東京都 おさかなさん様 女性 14歳)

【選評】 息づまる延長線。ここでゴールを決めれば勝利だ。エースストライカーの君を見ると、君はこちらを見ていない。その視線の先はゴール。ここしかないスペースへ会心のパス。シュートシーンを詠み込まない妙。



【一般の部】

人生も楯円の球も七転び

(千葉県 イナバウアアの白兔様 男性 66歳)

【選評】ラグビーボールは楯円形のため動きが予測できない。それは人生も同じ。七転びして八起き目で拾われ、新たな展開を見る素晴らしさ！



【一般の部】

婚活をやめてスポーツ出来た縁

(東京都 徒然庵様 男性 72歳)

【選評】婚活でなかなか相手に恵まれない。諦めて(或いは切り換えて)スポーツしたら、そこで人生の伴侶を得た。スポーツが取り持つ不思議な出会い。



【一般の部】

三世代緑の中で漕ぐペダル

(東京都 まこっちゃん様 男性 71歳)

【選評】「漕ぐペダル」とあるからサイクリングを楽しむ家族だ。しかも三世代で。緑のシャワーを浴びる解放感・爽快感！季節は変わって秋。紅葉の森へ出発！



【一般の部】

ウォーキング街の小さな変化知る

(石川県野々市市 のほほん様 男性 38歳)

【選評】車の生活は便利だが、マイナスもある。車を降りて歩くことの豊かさ。ウォーキングを始めて気づいた街の小さな変化。我が町再発見！



【一般の部】

青空は足にすすめの信号機

(埼玉県 小松崎有美様 女性 34歳)

【選評】赤・黄・青の信号機以外にも止まれ進めの指示が出る。例えば、止まれは救急車、そして進めは青空。「半分、青空」は？



【小中学生の部】

中体連勝って見上げる青い空

(佐賀県 剛田先輩様 男性 15歳)

【選評】最大のスポーツ大会で勝利した喜び。負けてうなだれた経験があるからこそ、見上げた空の青さが目に焼き付いた。



【小中学生の部】

大会で2位をとったがくやしなき

(石川県金沢市 中村玲菜様 女性 11歳)

【選評】二位が誇るに足ることは分かっている。だが、最後の最後に負けて優勝を逃した自分。目からは悔し涙が溢れ出る。



【小中学生の部】

あと一キロがんばれ走れゴールまで

(千葉県 渡邊凜太郎様 男性 11歳)

【選評】長丁場で体も心も萎えそうになる場面が何度もあった。しかし、今ようやくやく目前にゴールが。自らへの最後の鼓舞。



【小中学生の部】

運動会クールなやつも熱くなる

(千葉県 西村優吾様 男性 10歳)

【選評】運動会は特別な雰囲気がある。団体抗やクラス対抗、クラブ対抗もある。クールなあいつまであの燃えようはどうだ。



【小中学生の部】

そら

青空の下続く未来へ走りぬけ

(千葉県 渡辺真帆様 女性 11歳)

【選評】過去・現在、そして未来という連綿たる命の流れ。青い空の下、未来へ向けて走り抜けと自身へ、仲間へエールを送る。

